

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月8日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 脇 一則		
環境-15	実施事業	まちの美化推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境保全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	まちの美化	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	まちの美化を推進し、快適な生活環境の実現を図る。
効果	ごみの散乱のない快適な環境の保全を図った。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄、ごみのポイ捨てをさせないまちづくりをめざし、クリーンアップ鎌倉清掃活動や持ち帰り等の普及・啓発活動を実施した。 路上喫煙禁止区域の巡回指導を行い、路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。 まち美化統一グリーンデー実施団体への奨励金の交付、アダプト・プログラムの育成、まち美化推進員によるキャンペーンの実施、まち美化推進協議会を開催した。 市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。 公衆トイレの日常清掃業務及び小破修繕業務等を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	65,661	68,031	当初予算(千円)	92,945		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	1,177	745	その他	4,575		
	一般財源	64,484	67,286	一般財源	88,370		
事業経費運営	人員配置数	6.5	5.0	人員配置数	4.0		
	人件費(千円)	49,837	38,559	人件費(千円)	31,009		
	総事業費(千円)	115,498	106,590	総事業費(千円)	123,954		
	市民1人当りの経費(円)	655	605	市民1人当りの経費(円)	703		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー キープ鎌倉クリーン推進会議（落書き防止） 鎌倉市まち美化推進員（まちの美化）

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	路上喫煙禁止区域内の喫煙マナーの周知を引き続き行うとともに、受動喫煙対策の観点から禁止区域の拡大の検討、屋内喫煙所の設置等補助制度の創設に伴う支出が見込まれる。また、落書きについては関係団体と連携し、迅速な消去作業等を行うため事業の継続が求められる。公衆トイレの清掃業務等については、来訪客の増加が見込まれ、清潔で快適なトイレを確保するため、清掃や修繕等維持管理に必要な予算の確保が求められている。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ごみのポイ捨てや落書き防止等の美化活動をまち美化推進員や市民、活動団体とともに啓発活動を行い、環境美化の意識向上に貢献した。 路上喫煙禁止区域の巡回指導を行い、観光客を含む喫煙マナーの向上とごみの散乱のないまちづくりを推進した。 不法投棄物については、公共用地への投棄が散見されることから、各管理者に適正な用地管理を促すとともに、市民からの通報に早期に対応し、状況の改善に貢献した。 喫煙マナーは向上しているが、受動喫煙による健康被害を懸念する市民意識が高まる傾向にあることから、喫煙所からの煙の拡散を防止する対策強化が求められている。 公衆トイレの巡回パトロールを実施し、清掃と小破修繕等を適切に行い、清潔で快適なトイレの維持管理を図っているが、依然故意による破損が生じその対応に追われて、継続し修繕費用も発生している。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 散乱ごみや不法投棄物の件数は、年々減少傾向にあるが、完全な防止には至っていない。引き続きゴミ散乱防止等の普及・啓発活動を実施する必要がある。 路上喫煙禁止のマナーの周知・啓発と巡回による注意喚起を行う業務の効率化を図り、まちの美化が推進される体制の整備を進め、受動喫煙防止対策を進める必要がある。 設置年度が古く、使用頻度の高いトイレに寄せられる苦情については、清掃及び小規模修繕を行っているが、大規模修繕は、設置者である観光課の対応になるため、相互に連携した計画的な施設改修が求められ、事業の一体化が課題である。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄物については、県と定期的なパトロールを実施し、通報や情報提供等の協力体制を整えた。 来訪者へのごみの持ち帰りやごみの散乱防止の周知・啓発活動を充実する必要があり、まち中の清掃活動や落書き防止等の美化活動をまち美化推進員や市民、活動団体とともに行い、環境美化の取り組みを推進した。 路上喫煙禁止区域の巡回注意喚起を行い、観光客を含む喫煙マナーの向上とポイ捨てや散乱ごみのないまちづくりを推進に取り組んだ。 公衆トイレ設置課と連携して、公衆トイレの設置や改修を行い、トイレの清掃回数の増加や臭気対策を行うなどトイレの快適化を図った。 あわせて職員による清掃業務点検(月3回)を実施し、清掃業務内容の確認及び設備点検を行い、定期的なメンテナンスを行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 散乱ごみや不法投棄の件数は、年々減少傾向にあるが、完全な防止には至っていない。引き続き、不法投棄等の周知・注意喚起活動を行う必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	落書きの消去率	単位	%	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H30年度 381件/381件
落書きの消去率向上が、新たな落書き発生の抑止力となるため。	目標値	98.0	98.0	99.0	99.0	100.0	100.0	
	実績値	100.0	99.2	100.0	99.7	100.0		
	達成率	102.0%	101.2%	101.0%	100.7%	100.0%		

指標の内容	不法投棄の処理件数	単位	%	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
不法投棄の防止を的確に反映するため	目標値	80	80	70	60	50	40
	実績値	61	73	56	37	36	
	達成率	131.1%	109.6%	125.0%	162.2%	138.9%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	過去3年間の指標(目標値・実績値)をみると、年度によって件数に増減があるため、そこから導き出される達成率はおおむね横ばいの状態で推移している。指標とした落書きの消去率を100%に達成することにより、落書きのないまちづくりと発生抑制を図っていく。公衆トイレの清掃と設備の適切な維持管理に努め、トイレの快適化の推進に取り組んでいく。
-----------------------	--